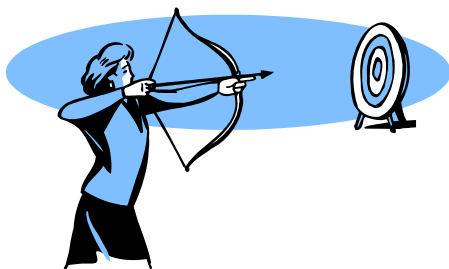


アーチェリーのルール



- ターゲット競技
- フィールド競技
- インドア競技



Zero-Craft archery

安全宣言

1. 私たちは、たとえ矢をセットしていなくても、決して弓を人に向けません。これが、アーチェリー最大のマナー常識です。
2. 私たちは、一斉矢取りを励行します。
3. 私たちは、アーチェリーに真剣に取り組めます。
4. 私たちは、ルールを守ります。
5. 私たちは、アーチェリーを自己責任のスポーツであることを理解します。
6. 私たちは、事故撲滅のため、「安全マナー」「事故防止に向けて」などの基本を守って事故ゼロを宣言します。
7. 私たちは、指導者・管理者の注意を守ります。
8. 指導者は、先ず安全教育から始めます。
9. 指導者は、技術と共に、心豊かな人材育成を心がけます。
10. 私たちは、相手を誠実に思いやり、尊敬し、真剣に競技して、良いアスリート・心豊かな人になることを宣言します。

平成 23 年 5 月 29 日

より楽しく射つために

アーチェリーの矢のスピードは、弓の強さにもよりますが、時速200～230km くらいになります。その衝撃力は、圧さ5ミリの鉄板を射ち抜くほどです。
アーチェリーは紳士淑女のスポーツ。安全のためのマナーを守って楽しみましょう！

●ターゲット競技

種類 1440 ラウンド (2014/4. 1 より)

FITA 9 0 0 ラウンド

オリンピックラウンド

7 0 mダブルラウンド

5 0 m/3 0 mラウンド

3 0 mダブルラウンド

1 8 mダブルラウンド (インドア競技)

1440 ラウンド

9 0 m / 7 0 m / 5 0 m / 3 0 m (男子) 各 3 6 射

7 0 m / 6 0 m / 5 0 m / 3 0 m (女子) 合計 1 4 4 0 点

オリンピックラウンド

7 0 m 1 2 射

合計 1 2 0 点

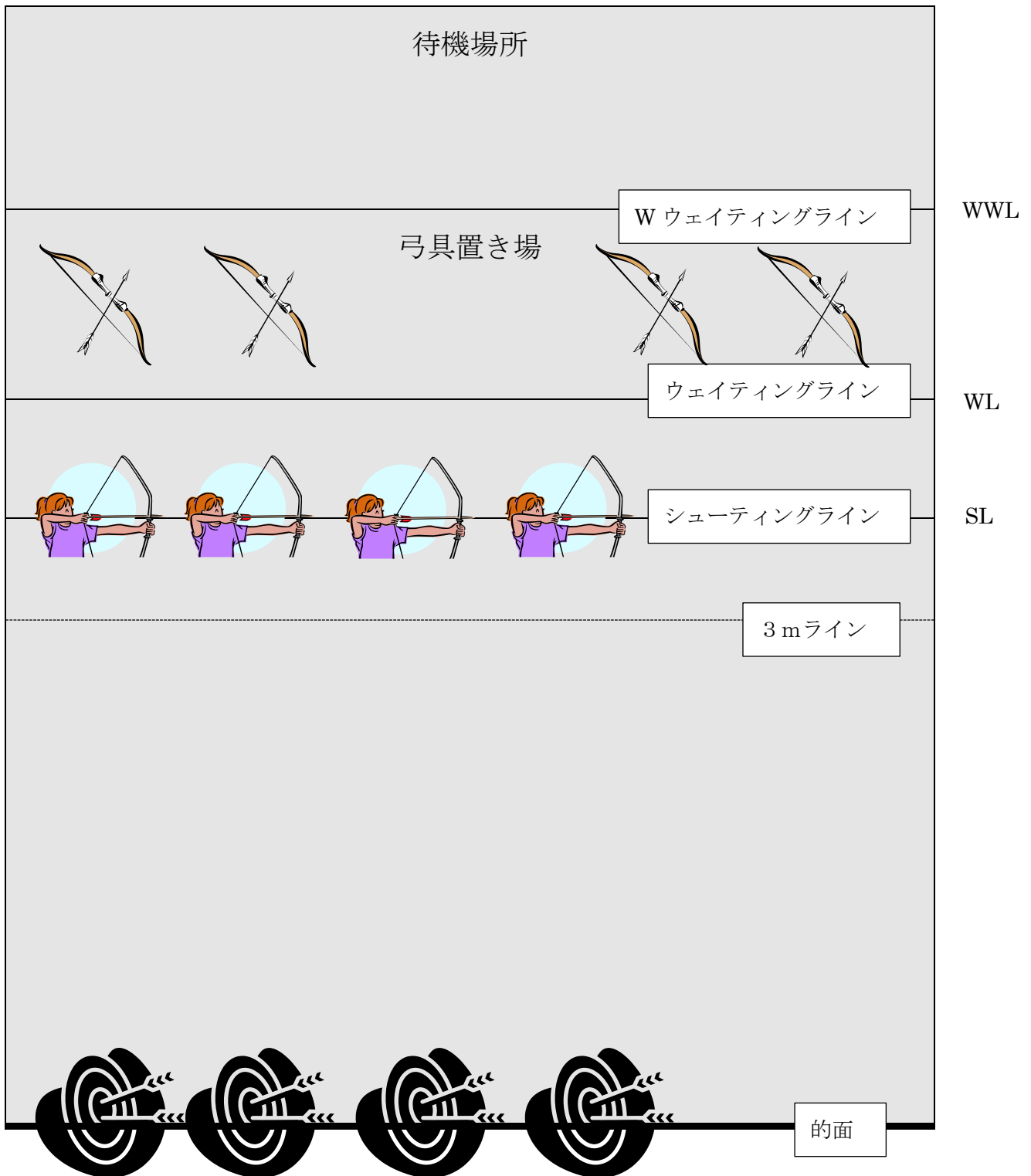
7 0 m 5 0 mラウンド・ 計 7 2 射

7 0 mラウンド (RC) ・ 5 0 mラウンド (CP) 合計 7 2 0 点

1 8 mダブルラウンド 計 6 0 射

合計 6 0 0 点

◆競技場の基本レイアウト



会場により※フォトライン、W ウェイティングラインが追加・削除が有ります。
 フォトライン (エリア) がある場合は立ち止まらないで下さい。

※テレビカメラや取材等の機材が入る場合に設けます。

◆服装について・・・「アーチェリーは紳士・淑女のスポーツです。」

上衣は襟付きのシャツ（ポロシャツ等）が好ましい。

*Tシャツは基本的には不可

（ユニフォームとして数名で同じデザインを使っている場合を除く）

*Hoytなどのメーカーロゴは不可（メーカー所属選手以外）

*帽子はターゲット競技の場合なるべく赤は避けて下さい。ルールブックには書いてありませんが、審判部からのお願いです。（公認試合の場合）

下衣はスポーツスラックス（ゴルフ衣等）・ジャージ（スポーツ衣）が好ましい。

*ジーンズ・カーゴパンツ等は不可

*ショートパンツは両手を下した時に、指先より裾が長くてはならない。

*靴はスポーツができる靴を着用して下さい。サンダル等は不可

（成瀬総合体育館の場合は上履き・スリッパ共可）

得点に関して・・・

ターゲット競技は1点～10点とXがあります。

*インドア競技・フィールド競技にはXは有りません。

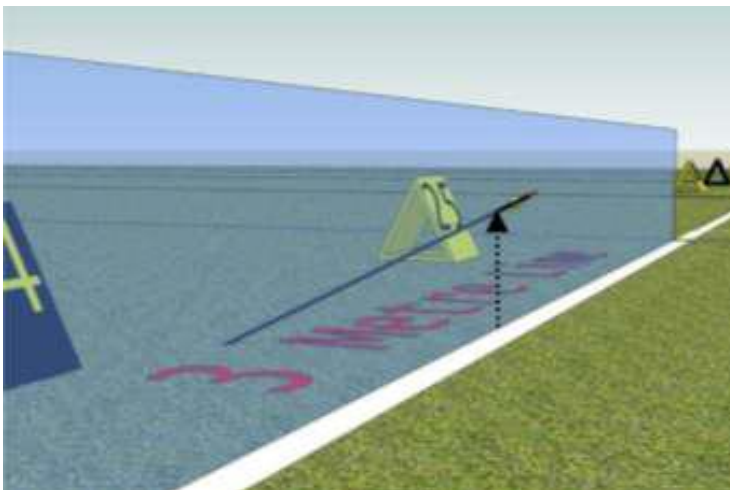
*注意事項

上に向けて引かない



もし、選手が弓を引くときに、誤って矢を発射し、その矢が安全領域を超えると審判員が判断した時は、選手にそのような危険な引き方をしないように忠告しなければならない。もし、選手がそのような弓の引き方をすると主張する場合は、審判長又はDOSは安全の観点からその選手に行射を即時中止させ、直ちに射場を出るよう指示する。

3 mラインについて



3 mラインは何らかの理由で矢を落下させた場合、公平に処理するために設けられた。この規則は、矢のシャフトの一部が3 mラインの内側にある場合は、矢は発射していないとみなすものである。この規則はnockや羽だけが落下している場合は、矢の再発射は認められない。nockだけが3 mライン内にあり、そのnockがシャフトに付いている限り、矢を再発射することが許される。3 mラインは3次元であり、左図のよう

に垂直に伸びている。

行射終了

選手は行射が終わったら射線から直ちに後退することを定めている。この目的は、競技会を必要以上に遅らせないことで、最後に射線に残っている選手にとって重要な規則です。

採点ミス

採点ミスがあった場合、**矢を抜く前**であれば同次の選手の了解を得て訂正することができます。

訂正後同次の全員のサインをしてもらう必要があります。

試合の流れ（ターゲット競技）

素引きタイム

東京都の試合では素引きタイムが設けられることがあります。その場合、矢は決して番えないように注意してください。

練習（つけ矢）

競技（本番）開始前に行う実射練習は、ターゲット競技の始まる前に行います。その時、審判の指示に従って何射なのか聞いてください。試合によって本数が違う場合があります。通常は2分3射（4分6射）×2回です。

試合開始

ブザー（2声）が鳴ったらA・Bの選手はシューティングラインに進みます。

***矢を番えても良いのですが、決して行射しないでください。**

次のブザー（1声）で行射開始になります。2分間で3射します。

***FITAラウンド90m・70mでは、4分間6射します。**

次のブザー（2声）でC・Dの選手がシューティングラインに入ります。

次のブザー（1声）で行射開始です。2分間で3射します。

次のブザー（3声）で、1エンド終了です。

***3分経過時のブザーと同時発射は時間外発射となり、最高点を削除されます。**

***次のエンドはCD・ABの順に行射します。**

***12エンドで前半戦終了です。18mインドア競技では10エンドで前半戦終了です。**

スコアカードを持って的前に前進します。

採点

同的の選手同士で相互採点になります。

*ABCDの4人の場合、ABの選手の採点をCの選手が行います。CDの選手の採点をBの選手が行います。Aの選手はリーダーになります。Dの選手は矢取りを行います。

*的中孔チェックは必ず行ってください。（的中孔にL字のチェックをします。）

*点数は高い順に書きます。

*Xのある競技はXが先です。（インドア競技・フィールド競技を除く）

*得点帯から外れた時はMと書きます。ミス（Miss）

*それぞれ小計を書きます。

***当該選手に確認をとってください。（後で問題にならないように・・・）**

矢の仕分けについて

矢を仕分けてそれぞれの選手に返しますが、的前で行わずに戻りながら手渡してください。

スコアカード

前半戦終了後、スコアの集計のため1度提出します。その時、Xの数とX+10の数と合計点を書いて提出します。選手サイン・採点者サインはしません。計算ミスがあった場合はボールペンで修正してください。この場合サインをする必要はありません。

*インドア競技の場合10の数と10+9の数を書きます。

試合終了

試合終了後スコアカードを提出します。すべての点数・X・X+10の数を記入したら採点者のサインをして当該選手に返却します。当該選手は自分のスコアを確認後、サインをして本部に提出してください。

順位の決定

点数の多い順に1位2位3位となります。同点の場合10点数の多い選手が上の順位になります。10点数も同じ場合Xの数が多いほうが上になります。すべて同じ場合は同位になります。

以下は繰り下げになります。ハンデキャップ戦の場合は素点+ハンデ点で計算されます。

ターゲット競技での射線の立ち方

射線に立つときは右図のように射線をまたぐか、射線を両方の足で踏む。これは選手の射つ位置が公平であるようにする為です。



メモ

試合の流れ（フィールド競技）

ターゲット競技と違い、素引きタイム・つけ矢はありません。

試合開始

開始時間を事前に通達します。それぞれの的的位置まで移動します。開始の笛で始めます。

行射時間

3分間で3射です。基本的には時間は計りません。極端に遅い場合や、後続の組が詰まってきた場合に審判の判断で計測します。ローカル試合の場合同的の選手が計測します。

スコアカード

前半戦終了後、スコアの集計のため1度提出します。その時、6の数と6+5の数を書いて提出します。選手サイン・採点者サインはしません。計算ミスがあった場合はボールペンで修正してください。この場合サインをする必要はありません。

点数は1～6点で多い順にスコアカードに記入します。的外の場合はMと書きます。前半戦2 1 6点満点です。フルラウンドで4 3 2点満点になります。

順位の決定

点数の高い順に1位2位3位となります。同点の場合5の数が多い選手が上の順位になります。5も同じ場合6の数が多いほうが上になります。すべて同じ場合は同位になります。以下は繰り下げになります。ハンデキャップ戦の場合は素点+ハンデ点で計算されます。

採点

同的の選手同士で相互採点になります。

*ABCDの4人の場合、ABの選手の採点をCの選手が行います。CDの選手の採点をBの選手が行います。Aの選手はリーダーになります。Dの選手は矢取りを行います。

*的中孔チェックは必ず行ってください。（的中孔にL字のチェックをします。）

*点数は多い順に書きます。

*得点帯から外れた時はMと書きます。ミス（Miss）

*それぞれ小計を書きます。

*当該選手に確認をとってください。（後で問題にならないように・・・）

*** 町ア協の試合では、ハンデキャップ制度があります。それぞれの選手のハンデキャップは事前に聞くことができます。ハンデキャップは、試合に参加するともらえます。但し、インドアフィールド・記録会には適応しません。**

フィールド的を射つ順番

(40cm的の場合)

AB CDと射つ場合

Aの選手は1番

Bの選手は2番

Cの選手は3番

Dの選手は4番

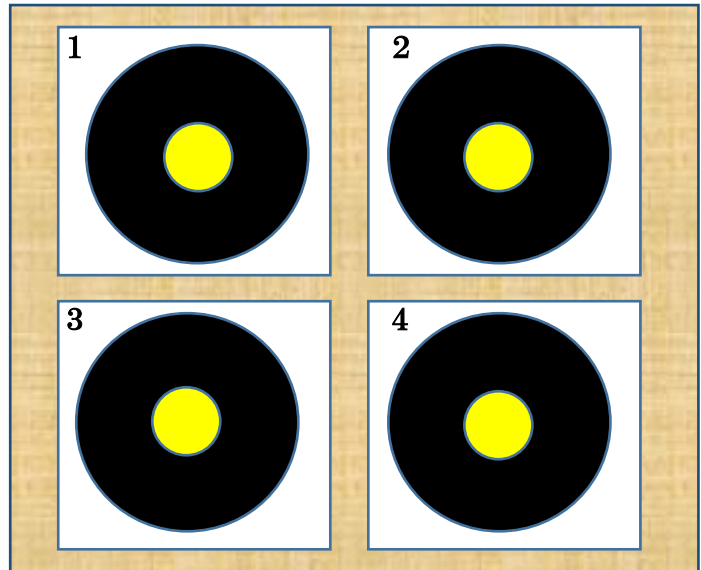
CD ABと射つ場合

Cの選手は1番

Dの選手は2番

Aの選手は3番

Bの選手は4番



(20cm的の場合)

AB CDと射つ場合

Aの選手は1番

Bの選手は3番

Cの選手は2番

Dの選手は4番

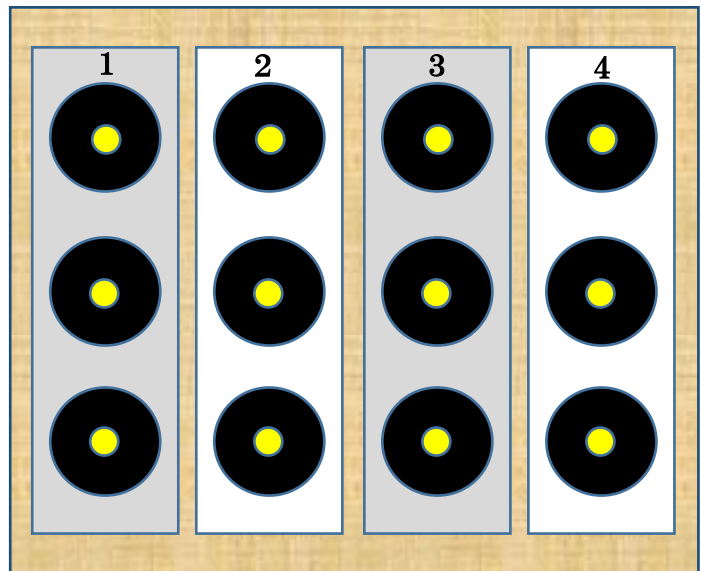
CD ABと射つ場合

Cの選手は1番

Dの選手は3番

Aの選手は2番

Bの選手は4番



的を射つ順番はどこからでも構いません。

フィールド競技での射線の立ち方

